

(((伝建群だより)))

編集・発行 桐生市総合政策部伝建群推進室推進係
Tel 0277-46-1111 (内線 346,639)
Fax 0277-43-1001
E-mail denkengun@city.kiryu.gunma.jp

平成21年 2月15日発行 冬号 №2

★本町一、二丁目地区伝統的建造物群保存対策調査をほぼ終了★

～東京大学や長岡造形大学が協力～

昨年5月から、建物や工作物、樹木などの調査のほか、地元の方から聞き取りなども行ってきましたが、ほぼ予定していた調査項目が終了しました。今後は、多少の補足行い、調査内容をまとめる作業に入ります。

地元の皆様には、いろいろとご協力いただき感謝申し上げます。

この調査の内容につきましては、機会を設け、皆様へご報告を行いたいと考えております。日程が決まりましたらお知らせいたします。

★桐生新町まちづくりシンポジウムを開催★

～平成20年12月7日(日) 桐生市有鄰館・味噌醤油蔵にて～

昨年12月に「伝統的建造物群を活用した地域づくり」をテーマにシンポジウムを開催しました。

当日は、100名を超える市民の参加があり、筑波大学の藤川教授から「歴史的資源を活用したまちづくり」と題した基調講演を行い、続くパネルディスカッションでは、「桐生市本町が重伝建地区になること」をテーマに、既に重伝建地区になっている川越市や六合村の方や本一・本二まちづくりの会、まちづくり専門家の方、基調講演の藤川先生に参加していただき、桐生市本町のこれからのまちづくりについて議論していただきました。(※この内容につきましては、桐生市のホームページで紹介しています。)

パネルディスカッションでは、重伝建地区を目指している桐生市本町に対して、既に地区になっている立場からやまちづくりとしての意見、アドバイスをいただき、周辺の考えや住民主体のまちづくりの重要性が訴えられた。



基調講演の様子

基調講演では、町並み保存の現状や登録文化財で有名な茨城県桜川市真壁町のまちづくり事例の紹介などのほか、桐生で進められているまちづくりでは、新しい取組の必要性を説明していただいた。



パネルディスカッションの様子

～伝建群を目指して～ 絹口マン 歴史織りなす 桐生新町

★桐生新町まちづくり塾が終了★

～(株)都市環境研究所 三重事務所長 五十子修氏～

昨年8月から始まった全5回の講座が終了しました。

桐生市本町で進められている「伝建地区によるまちづくり」を中心に、地区の価値やまち並み景観をどう守るか、また、観光や防災といった具体的な話など、この地区が将来どのようなになるのか、どのように進むべきか、どのようなことを考えておく必要があるか、など様々な意見をいただき、参加者と一緒に検討する場となりました。

全5回のまちづくり塾では、延べ139名の参加があり、多くの市民の方が桐生市本町のまちづくりに対し、理解を深められたのではないかと思います。



講座の様子

★防災について考える住民懇談会を開催★

～群馬大学工学部大学院 講師 及川康先生～

桐生市本町地区は、伝統的建造物を含む木造家屋が密集する地区ですので、災害に対して強いという環境ではありません。

今後、伝統的建造物などを守り、市民生活を安全なものにするためには、「防災」という課題を解決していかなければなりません。

そこで、防災に関して実績と経験が豊富な群馬大学工学部大学院の片田研究室に協力していただき、3回の住民懇談会を開催いたします。



第1回の様子

【 第1回の概要 】

開催日：平成20年11月26日（水）

場 所：本町一丁目集会所

内 容：伝建地区や災害（水害、火災、大規模地震など）の説明
地区で火災が起きたと想定した延焼シミュレーションの実演



第2回の様子

【 第2回の概要 】

開催日：平成21年 1月26日（月）

場 所：本町一丁目集会所

内 容：歴史的資産を守るための意義の説明
火災から地区を守る手段として消火栓の活用の説明
図面による消火栓配置案の検討

第3回は、3月17日（火）午後6時30分から、本町一丁目集会所にて、今までのまとめを行います。大勢の地元の皆さんの参加をお願いいたします。

★都市計画道路「本町線」説明会を開催★

～本町通り（主要地方道「桐生田沼線」）の整備について～

本町通りの整備について、下記のとおり説明会を開催します。ご参加いただきますようお願いいたします。

【日 時】平成21年2月17日（火）
午後6時30分から

【会 場】本町一丁目集会所

【内 容】①歴史的まち並みの保存について
②都市計画道路の取扱いについて
③道路整備計画について

～伝建群を目指して～ 絹口マン 歴史織りなす 桐生新町